

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区誌



四国

We Serve

1・2・3
No.3

2024年 第125号
令和6年3月22日発行



©Kirinotomoaki



地区ガバナー半年を経過して

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区ガバナー 山崎 勝彦

「人を護る」

献血活動について

コロナ5類移行した後の本年度、地区135クラブの活動も例年とおりに戻り、クラブ会長のリーダーシップのもと、活発に社会奉仕に取りかかれたことに対して、厚く感謝申し上げます。特に献血奉仕活動については、四国島内ほとんどのクラブが継続事業としてとり行われております。2023年7月から12月までの日本赤十字社のデータによりますと、この半年で徳島県2188名、香川県3902名、愛媛県3762名、高知県3141名の献血者を集め、一般全体の献血者数の2割を占めているとのことです。A地区内のライオンズクラブの

献血活動に対する熱意・意気込みが明確に数字に表れています。

毎年8月に広島市にある日本赤十字社中四国ブロック血液センター主催で、地区ガバナーや第1副地区ガバナーなどが招待されて献血についてのセミナー・意見交換会が行なわれています。このセンターには血液や献血について解りやすくするため、3D映像などが見られる視聴覚ルームや血液製剤の部所では献血後の実際の作業工程をガラス越しに見学ができるようになっています。見学をするにはあらかじめ予約が必要となり、各クラブの研修やリレーション、旅行、広島球場野球観戦などに取り混ぜられても面白いかもしれません。

今期もコロナ明けということで久しぶりに8月1日から8月2日までの2日日程で、広島市内にある「中

四国ブロック血液センター」で開催され、私も初めて参加させていただきました。当初は日赤血液センターがこのセミナー・研修会経費を丸抱えの意図が理解できなかったのですが、前述しましたように、一般献血全体の各地の献血数に対するライオンズクラブが関わる貢献度の割合の高さを考えると、日赤血液センターのライオンズクラブに対する大きな期待度が窺えるところです。

ところで、中国各県では島根県ライオンズクラブが唯一20%を超えますが、あとの4県は非常に少なく10%にも満たないようです。

反対に四国4県のライオンズクラブの献血貢献度は20%を越えるもので、四国4県のライオンズクラブの日ごろの努力と、一般の方々に対する献血活動へのアプローチの素晴らしさに、大きな誇りを感じるところ

です。高校生とのコラボレーションによる呼びかけ活動や専門学校・大学等に献血車を派遣しての活動等、いろいろな工夫をされながら献血活動を継続されております。それは一年に1回限りのものではなく3回4回と回を重ねるクラブが多いことも頭が下がる思いです。

今期の地区スローガン「地球を守る、人を護る」の「人を護る」ことを四国の135ライオンズクラブが日々実践していただいていることに改めまして本誌をお借りして感謝申し上げます。献血活動は血液をSAVEして人の命を助けます。お金では買えないこの献血活動はまさしくライオンズの社会奉仕活動に相応しいものだと思信するところです。



INDEX

- 表紙2 地区ガバナー半年を経過して
- 4 合同アクティビティ
- 8 コーディネーター 前期の総括と後期に向けて
- 14 委員会 中間報告および後半に向けて
- 22 周年記念式典
- 25 高知市社会福祉協議会との
「高知市災害ボランティアセンターの活動に関する協定」
締結及び 令和6年能登半島地震救援募金活動
- 26 クラブアクティビティのご紹介
- 28 地区会員現況
- 表紙3 物故会員・編集後記
- 表紙4 第70回 地区年次大会のお知らせ



献血70歳問題一考

私は本年11月で満70歳となります。最初に私が献血したのは二十歳のときで、県外の献血センターでとっていただきました。その後インターバルがありましたが、ライオンズクラブに入会した後、年2回の献血活動の際に自分も献血することでクラブに貢献してきました。残念なこと今年で献血は最後の社会奉仕となります。

70歳を超えても若い人に負けない記録で走り抜けるマラソンピープル、75歳を超えて後期高齢者になってもゴルフ競技で250ヤードから280ヤード飛ばす強靱民族も沢山身近に見受けられます。この方々の血液は70歳を超えても活力あるものに違いないと思い、そこで私は前記セミナーで献血の限界点70歳の基準はナンなのか投げかけてみました。70歳を超えると血液に加齢臭が残るのか、70歳を超えると血液には抗体を発生する細胞でもあるのか、出来れば献血事前検査で比重・簡単な成分分析ができないものか、高齢者の血液の今までと違った使い方の研究ができないのか是非一考いただきたい旨発言いたしました。これから先の少子化が大きな波となる前に老人

血液の使い道の研究は必須だと思慮いたします。

「地球を守る」

クヌギ植樹

第二次世界大戦の国民総動員の際に、日本の山に未曾有の杉が植林されたことはご案内のとおりです。沢山の杉が植わったその土地は下草のない酸化したカルシウム不足の土壤になっていきます。このような土壤は保水力に乏しく、大雨の際に土石流を起したり、洪水の起点となるなど大変危険な状況と言えることとなります。

翻って、広葉樹が茂りその葉が枯れて下草となって積み重なっていく土地は「腐食集積層」を形成し保水力ある酸化防止ができる土壤となっていくます。

そのような集積層には微生物が沢山宿り、ミミズやカンタロウなどの地中生物も多く頒布し小哺乳類の餌となり、またクヌギなどの実は中哺乳類の餌となり豊かな山を創造いたします。前記記載の酸化しカルシウム不足の土壤の上に生育する杉は、人体に影響を及ぼしている杉花粉が

変化しているのではないかと危惧するところです。50年前以前には花粉症は今ほど多くはなかった、というか実際あったのかどうかも定かではなく、バランスのとれた土壤から生育した杉花粉と酸化しカルシウム不足の土壤の上に生育する杉の花粉とは微妙に異なるものではないかと思慮いたします。

そこで336A地区キャビネットでは四国の山々にクヌギなどの広葉樹を植林して、酸化した山の土壤を元に戻し、山から下りてきた鳥や哺乳類を山に帰すことを計画したいと思うのです。

夢のような話にはなりますが、タイの象使いの方々を雇用し、四国の山で象による伐採木の運搬に携わっていただき、象と共存できる四国の山をアピールすれば道がないところでの木材の運搬ができるし、観光資源にもなるかもしれません。この話を森林公社の方に話をしたところ笑われて終わってしまいました。

アラート

2024年1月1日、石川県能登半島地震の発生には脅かされました。いよいよ南海トラフ地震も近づいたのではと危惧するところです。



くしくも昨年9月に四国135のライオンズクラブに参加していただきアラートシミュレーションを行いました。家族会員も含めると約5000人のライオンズクラブ会員の安否を1時間ほどで集約する計画で挙行しましたが、各クラブの絶大・多大なご協力のもと、なんとか頭書の目的を果たせたような気が致しております。ライオンズクラブのメンバーは各地に点在しております。そのメンバーとの安否確認が取れば、その地域の被害の状況も集積できますし、それをもとに救援体制もとれ自



衛隊、社会福祉協議会との連携にも繋がり、ボランティアの方々との協調も成り立っていきます。

当初この9月1日のアラートシミュレーションを計画したときは、クラブからの連絡をゾーンチェアパーソンが受け、リジョンチェアパーソンに連絡をしてのち、キャビネットが集計する段取りでした。この流れですとクラブの会員おひとりおひとりが誰に連絡するのか、会長から個別に会員の方に連絡するのか各クラブにお任せしていました。

しかしながら前述のとおり

5000人の安否を1時間で集約することは壮大で無謀な計画だったのかもしれない。しかしながら会長やゾーンチェアパーソンの頑張りのもとなんとかキャビネット本部において最終確認はできました。本当に感謝申し上げますとともに、南海トラフは予告なしに起こります。最大の準備・危険回避を想定しながら行動していただきますようお願いの一言に尽きます。

クラブを信じる

7月からの各リジョンへの公式訪問では、各クラブの会長さん皆さんに赤いレッドソックスをあしらった国際大会記念バッジをおひとりおひとりに着用させていただきました。会長さんからは「今年の目標を完結するぞ」の意気込みがひしひしと感じられました。

この時は会長さんを信じよう、各クラブの方々を信じよう。会長さんはご自分のスローガンに基づいてゼッタイに行動していただける。各クラブはその会長さんのもと必ず目標どおり成し遂げていただけると信じることにしました。

その後ボストン国際大会から帰国した後は、クラブにおいて3名以

上の新入会員の入会式行なう例会には必ずガバナーが列席したい旨御伝えしたところ、坂出白峰LCを皮切りに、高松栗林LC、土佐LC、鴨島LC、高松葵LC2回、高知桜LC、今治LC、高松東LC2回、高松西LC2回、松山西LCから出席要請があり、私は例会にお邪魔し新入会員の皆さんとお会いすることができました。大変貴重な経験となりました。私の胸の底に刻まれる尊い種子となりました。ありがとうございました。

年次大会

さて本年度も半年が経過し、キャビネットも来る4月20日(土)、21日(日)の両日の年次大会に会向けての準備が始まりました。沢山の会員の方々を「土佐の高知」にお迎えし、一年間の成果を皆さんで称えあい、祝い、「おきやくじゃ」「祭りじゃ」の掛け声とともに思い出に残る有意義な年次大会となりますよう心こめて頑張る所存です。

是非、是非に沢山の方々とお話しできることを願っております。吞んで吞んで吞んで、食べて食べて食べて楽しんでいただけましたら幸いです。



チャリティアクティビティ サンタ DE ウォーク

8R-RC 喜田 和彦・9R-RC 吉村 正

8
REGION

9
REGION

◆開催日時／12月17日(日)

◆開催場所／徳島市藍場浜公園～徳島駅前～東新町商店街～新町川水際公園



12月17日(日)8R・9R合同の子供たちを応援するチャリティイベントとしてサンタDEウォークを開催しました。今回は、高知キャビネット山崎勝彦がバナーの基本方針を、受け青少年健全育成子ども食堂後方支援事業として実施、当日はこの冬一番寒い朝となりましたが、来賓に内藤佐和子徳島市長を迎え、8R・9R20クラブから約160名の参加がありました。

参加者全員サンタクロースの衣装身に着けて、徳島市中心部にある、徳島市藍場浜公園から徳島駅前を経由し新町川水際公園までの約2.5kmを約1時間ウォーキングしながら、「ライオンズクラブは、子ども食堂を応援しています、子ども食堂に募金をお願いいたします」と呼びかけながら、子ども食堂・フードバンク支援の街頭での募金を募りました。この間徳島駅前では、道行く子供たちに一足早いクリスマスプレゼントを配り、ライオンズクラブの活動を広く知ってもらおうPRを行いながら全員最終場所まで到着し、集合記念写真を撮影し散会しました。



こども食堂支援チャリティーゴルフ と支援金贈呈式

8
REGION

8R-RC 喜田 和彦

◆開催日時／11月23日(水)
◆開催場所／徳島サンシャインアネックスホテル 羽衣の間



2023年11月23日(木) 祝子ども食堂子ども食堂支援金贈呈式が行われました。

小春日和の暖かな日に贈呈式は行われました。会場は和む笑顔で雰囲気も良く8R・2Z徳島やまももLC会長 栗田勝の司会進行、8R青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員立石量彦開会の言葉で、優しさあふれる開式となりました。

8R・RC喜田和彦による支援者代表挨拶では今年度も無事に支援出来ることの喜びと、こども食堂各運営団体に温かい激励の言葉で更なる意欲増進の素となりました。

贈呈式では、各団体を代表して徳島こども食堂ネットワーク理事長佐伯雅子氏へRC喜田和彦により手渡

され、徳島こども食堂ネットワーク理事長佐伯雅子氏から、8R・RC喜田和彦へ感謝状が手渡されました。

徳島こども食堂ネットワーク理事長 佐伯雅子氏の活動報告では、更なる活動拡大と内容の充実、理解の増進に励む言葉が印象的でしたが、各7団体の活動報告では、やってみなければ解らない様な苦労、困難がありながらも意欲的に力強く活動されている姿が観て取れました。なか

には、外国人で構成されている団体、学生で構成されている団体も有り本当に驚かされました。記念写真撮影では、笑い声の止まない賑やかなものとなり、ライオンズであることの喜びをしみじみと感じるハッピーな1日でした。

2023年11月3日(金) 8R・RC 喜田和彦によるこども食堂支援チャリティーゴルフが、開催について各ライオンズクラブ会員に対して文書。

「今季ガバナンスの方針に、こども食堂の支援を受けて、8Rでは絶好の天候に恵まれ11月3日祝こども食堂支援チャリティーゴルフを開催いたしました。

当日、8R各クラブから176名の参加があり、真直ぐ・右へ・左へ、苦戦しながら一日心地よい汗を流していました。

コンペに参加した会員からの、貴重な浄財(寄付金)は、「徳島子ども食堂ネットワーク」を通じて8R地区内で精力的に活動されている子供食堂7団体に有効に活用していただきたく贈呈いたしました。

最後にチャリティーゴルフコンペ開催にあたり、格段のご協力をいただいた、眉山カントリークラブをはじめ会員の皆様のご協力・ご支援に感謝申し上げます。



あなたの愛をパレード

7R - MC・地区誌・SNS委員 西村 方志（高知南）

6
REGION

7
REGION

◆開催日時／11月25日(土)

◆開催場所／帯屋町商店街～新京橋商店街～中央公園



献血・献眼・献腎・骨髓提供を呼び掛ける「あなたの愛をパレード」は高知県内6R・7Rのライオンズクラブが合同で例年行っている行事です。秋晴れの爽やかな日、土佐女子中学高校のマーチングバンドを先頭に、高知市中心の商店街頭にて、横断幕を掲げパレードを行いました。沿道の方々は、少し訝しげに立ち止まっておられましたが、横断幕を目にすると「なるほど」とうなずかれる方や、手を振って応援してくださいさる方も大勢おられました。参加メンバーは四献運動が多くの大切

な命を救う活動であることを、手にしたお菓子を配りながらお声掛けをいただきました。

パレードの最後は中央公園でのマーチングです。様々なフォーメーションを展開しながらの演奏はとても素晴らしいもので、思わず手足がリズムを刻んでしまいます。道行く人々も足を止め熱心に演奏を聴いています。

「あなたの愛をパレード」とマーチングバンドは高知の秋の風物詩となり、この活動がもっともっと広がればよいと感じました。





第2回サンタ DE ウォーク開催

6R 青少年 LCIF ライオンズクエスト委員 宮崎 康平（土佐）

6
REGION

7
REGION

◆開催日時／12月23日(土)

◆開催場所／ひろめ市場前～帯屋町商店街～新京橋商店街～京町商店街～はりまや橋公園



2023年クリスマスイブの前日12月23日、高知県下6R7Rの各クラブでサンタDEウォークを開催しました。

当日は土佐女子中学・高校のマーチングバンドを先頭に、山崎地区ガバナーを始め参加者総勢約100名全員がサンタクロースに扮し、募金箱を手に高知市中心部のアーケード商店街をパレードしました。最初はサンタのコスチュームに気恥ずかしさを感じたものの、100人のサンタクロースが街を行進する光景は想像以上に壮観でテンションが上がる

とともに気恥ずかしさはいつの間にか消え去り、商店街の一般客にライオンズクラブのアピールを行いながら募金を呼びかけ、最終地点のはりまや橋公園まで約1時間のパレードでした。

この企画は高知県下の子ども食堂支援を目的としたものであり、パレードの募金や協賛により集まった資金を開催趣旨の通り30ヶ所の子どもの食堂に支援金を分配する事ができました。



▲YouTube

動画もご覧ください



「コーディネーター」 前期の総括と後期に向けて

上半期を振り返り、 下半期に向かって



元地区ガバナー・地区名誉顧問
地区GMTコーディネーター
地区GLTコーディネーター
地区GMA副リーダー

真鍋 隆 (こんびら)

日本では新型コロナウイルス感染症は5分類となり約半年が経過し、ライオンズクラブの活動も活発になってまいりました。そんな元旦の夕方に能登半島大地震のニュースが流れ、暗いスタートとなりました。被災地の一日も早い復興を願っていますが物価高騰、地方の経済活動はなかなか上向かず、その上に少子高齢化が進んでいます。ライオンズクラブを取り巻く環境も厳しく、廃業、倒産件数

も増しているようですが、今こそ単一クラブも運営や奉仕事業の内容を見直し改革に取り組む時ではないでしょうか。

私のガバナーから与えられた役職は地区のGMT(会員増強)、GLT(指導力育成)コーディネーター(調整役)ですから誌面を使わせていただき上半期について報告致します。

① GMT(グローバル・メンバーシップ・チーム) について

GAT(グローバル・アクション・チーム)の1つであるGMTの12月末の現況ですが、上半期に入会された新会員は230名で、退会者(死亡退会含む)は211名で期首よりプラス19名となっています。クラブ支部は1支部増で地区内では現在12支部になりました。下半期も支部作りや女性会員、若い会員を必ず入会招請しましょう。クラブメンバー全員でクラブの未来のために会員拡大と「会員種別」を活用して退会防止に努めて下さい。又、本年1月1日より「特典会員」という種別が新設されました。国際協会費半額の家族会員や減額された学生会員、レオライオン会員が含まれます。特典会員は全額支払う正会員と同じ権利を持ちますが、単一クラブから地区大会、複合地区大会、国際大会に送ることのできる代議員数を計算する際のクラブ会員数にはカウントされません。

※割引会員という訳語が見直され、特典会員という訳語へと変更されました。

資料A 会員種別表参照

さて、前年度から始まったGMA(グローバル・メンバーシップ・アプローチ)は会員増強、拡大に特化した戦略ですが、各単一クラブ会長さんより会員にアンケート調査をして会員の満足度を高めるよう活用されていることと思います。会員一人一人が「いこちのいいクラブ」となるよう願っています。

※資料B 地区GMA組織表参照

更に今回は、ミッソン15という会員拡大のための全世界的な取り組みが開始され、2027年7月1日までに世界全体の会員数を150万人に達成する目標が国際会長より発表されました。すべての単一クラブが女性や若い方を含む多様な種別の新会員を必ず入会させる必要があります。

② GLT(グローバル・リーダーシップ・チーム) について

GATの1つであるGLTでは、RC主催の指導力育成研究会の講師として1R、4R、5R、6R、7R、8R、9Rから声が掛かり参加させていただきました。どの会場もクラブ副会長、中堅の会員を中心に多数



の出席者があり、時間とスペースがとれる会場では後半にワークセッションを実施し、リーダーシップについて熱心に話し合っていました。実り多い会となったとの声もお聞きし、次世代リーダー発掘へと繋がったのではと感じました。クラブでは第一副会長が指導力育成委員長ですの、ぜひ後輩を育てて下さるものと思っっています。リーダーシップの極めは次のリーダーを養成することです。

現在は多様性の時代で、色々なクラブがあり、色々な会員がいることを認められています。会員の種別を利用し幅広く入会招請することも必要ではないかと思われます。現会員は気配り、心遣い、思いやりを持ち、心豊かな人が増えれば若い会員も入会し成長するはずす。ライオンズクラブの活動を通して人間磨きができ、多くの出会いがあり財産となることを理解してもらえれば、ライオンズクラブの未来は明るくクラブも発展することでしょう。

単一クラブには国際協会、理事会の方針に従うことを前提に自治権があります。頭を少し柔らかくして現状打破、改革に挑んでください。サクセス・ストーリーが四国中から聞こえてくるに違いありません。それ

を日本中、更には世界へと広げていきましよう。

資料A

種別	会費即時支払 (クラブ、地区、国際)	クラブ活動 参加	良い印象を 与える言動	クラブ、地区又は 国際役職への 立候補資格	投票権・自身が 代議員になる資格	地区又は国際の 大会の代議員数 算出の対象
正会員	必要	必要	必要	有	有	対象になる
賛助会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
準会員	クラブ会費のみ 支払う	可能な時	必要	無	地区大会（第一クラブ） クラブ事項 （第1及び第2クラブ）	対象にならない
特典会員 [本項は2024年1月1日施行]	必要	必要	必要	有	有	対象にならない
名誉会員	必要なし。クラブが 国際及び地区の 会費を支払う	可能な時	必要	無	無	対象にならない
終身会員	クラブ及び地区の 会費を払い、 国際会費は払わない	可能な時	必要	正会員の義務を 果たしていれば 有	正会員の義務を 果たしていれば 有	対象になる
不在会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
優待会員	必要	可能な時	必要	無	有	対象になる

資料B 地区GMA組織表



半期を振りかえり、 今後の対応について



元地区ガバナー・地区名誉顧問
Newプランニング（長期計画）
コーディネーター・リーダー

橋本 充好
（高知柏）

昨年に会員の減少を食い止めるため336複合地区で長期計画委員会が立ち上がり、今後のライオンズクラブの対応を検討することになりました。それを受けて今期山崎ガバナーはA地区でもその必要性を感じNewプランニング（長期計画）コーディネーター会議の設置を行いました。第1回会議が2023年9月に行われ複合地区の議事録を参考に（案）として11名のコーディネーター（原則前期各RC）の意見を取りまとめました。

A 会員増強

- ① 支部組織の開拓
- ② 女性会員の勧誘
- ③ 家族会員の維持、増強
- ④ ライオンズクラブのパネルの配布
- ⑤ 青年会議所、商工会議所の卒業生の勧誘（卒業年度前に勧誘する）
- ⑥ 奉仕活動をした仲間への発掘
- ⑦ 出会う人一人一人に声掛けをする
- ⑧ 信頼されれば自然と仕事につながる

B リーダーシップ（指導力の育成）

- ① 原則60未満会員のリーダーシップ研修への参加
- ② 意欲のある会員の意見交換会（クラブリーダーの育成）
- ③ 国際理事、国際会長を目指す会員の発掘

B-2 会員の資質の向上

- ① やってもらいたい方を役職に
- ② クラブでの研修の充実（例会でのライオンズクラブ関係の知識の向上）
- ③ 会長をはじめ率先垂範の励行
- ④ ライオンズクラブの役割の理解
- ⑤ クラブ対抗のゲームを行う

B-3 会長の役割

- ① すべての会員の声を聴く（気配り、目配り）
- ② 新しい取り組み
- ③ ホディティブ
- ④ 変化と進化
- ⑤ ライオンであることの喜びを伝授

C ドロップアウトの防止

- ① 同期の入会年度の同期会
- ② チームワークの向上
- ③ 合同例会（クラブ交流）の実施
- ④ 情報の共有（正会員以外に情報の提供）

D 奉仕の展開

- ① インパクト（マスコミが取り上げる）のある奉仕事業の展開
- ② 会員が感動する奉仕（例えば…社会的弱者、青少年、高齢者等との交流）

E 結論

A～Dを達成することによってやせたいガバナーを発掘し、いずれは国際理事、国際会長を336A地区から排出する。

第2回会議は2024年2月9日開催予定です。ライオンズの現状を掌握し、その流れを見極め今後の対応策を検討します。



アラートチーム活動の 半期と後半に向けて



元地区ガバナー・地区名誉顧問
アラートチーム
コーディネーター

酒井 公一
(高知ようま)

この度、1月1日の能登半島地震

で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復興復旧されますようお願い申し上げます。

今期山崎地区ガバナーの元、9月には災害のシミュレーションが行われ、一回目にしては良い結果だったと思われまふ。又、12月には高知市社会福祉と高知市内13ライオンズクラブとの間で災害に対する協定が締結されました。これも山崎地区ガバナーの成果の一つであります。ここでは、近い将来必ず来るであろう東南海地震について考えてみたいと思います。

◎災害に備えての心構え

私達ライオンズクラブ会員も、一般の方々同様常日頃より、いざ自分の身に色々な災害が降りかかった時、どのような行動をとるか自宅、会社、学校、車それぞれ何時災害にあうか分かりません。家族内、会社、グループでの避難経路等日頃の話し合いが大切です。非常事態用持ち出し袋など、自宅だけでなく各所に常に用意しておきましょう。自治体、町内会などで避難訓練が行われた際には必ず参加して災害に対する認識を深めておきたいものです。

◎ライオンズクラブ活動の受援体制

一般的には災害は支援の立場で考

える場合が多いのですが、今回の能登半島地震を見て感じる事は、受援活動の難しさを強く感じました。家屋の倒壊、道路の寸断、積雪等、目にあまるものがあります。支援物資は続々と集まっているにも関わらず車が入れないので被災者に迅速には届きません。地元334-D地区のガバナーはパニックになり殆ど動けない状態のようです。ここに日頃よりの受援体制を整えておく必要性を強く感じます。我々、336-A地区特に高知、徳島が地震、大津波に襲われた時にどのような行動を取るべきか、行動シミュレーションをしておくことが大切です。幸い山崎地区ガバナーの下で災害シミュレーションが行われました。これはほんの初歩ですので今後は社会福祉協議会を主に他団体と一体となつて訓練をしておくことが大切です。

2019年7月に西日本豪雨災害時、岡山県真備町で災害がありましたが、336-B地区のガバナーが全財産をなくしました。災害にあった次の日に思った事が、現金を二万円でも二万円でも構わないので必要だと思つたそうです。お金も何もかも無くしているわけですから、何一つ買うことは出来ません。これが災害現場の悲痛な叫びだと思ひます。お金をいち早く届ける検討も必要ではないでしょうか。

◎ライオンズクラブ活動の支援体制

東日本大災害、熊本地震、能登半島地震等私たちは災害支援の立場にありますから、会員の皆様に支援を呼び掛けて募金活動をおこなう、支援物資を送るなど比較的冷静に行動が出来ると思ひます。能登半島地震に対してはLCIF国際財団より10万ドルが一週間以内に交付されておりあります。日本ライオンズ会員一名につき2,000円の寄付金をお願いすることも決定されました。その他にも、個人的に多くの方々支援に立ち上がっています。その一方現地では、災害の全体像を掴むのに災害発生後三週間以上かかっています。これは地震で山崩れ、液状化現象等で道路が寸断され、現地に入れず孤立化したことが大きな要因でした。この状況を踏まえ今後は大型ドローン、ヘリコプターなど空からの支援が迅速に行われる様な事前準備が重要と思ひます。又、海に近い所は船舶による支援も必要でしょう。

私達336-A地区(特に高知、徳島両県)では近年台風、地震等から奇跡的に免れております。今後30年以内に70%の確率で地震が来ると予想されておりあります。ライオンズクラブ会員の一人一人がしっかりとした災害対策を頭に置き活動されることを願うばかりです。

LCIFの重要性



元地区ガバナー・地区名誉顧問
LCIF推進コーディネーター
アラートチーム顧問

高岡 英治 (松山湯築)

山崎地区ガバナーは、ボストン国際大会でガバナーに就任され、現地でのレストラン巡り、街中をタキシード姿で散策する等、楽しい大会の様子が想像されました。本年度は7月初めより四国では大きな災害も無く、暑い夏となりました。

その中、ガバナーはIRから9Rまで公式訪問に出席され、ガバナースローガン「市民のための社会奉仕」キーワード「全員参加の社会奉仕」の基本方針に沿って、地域奉仕の重要性を説明されました。

今年度も、ウクライナ問題、トルコ・シリア大地震、ハワイ大火災、そして、イスラエル・ガザ紛争と支援を待っている人々が多い事にご承知の通りです。LCIFは世界の人々を救う大きな希望です。ライオンズとしての使命と活動に熱心に

取り組む336-A地区の会員の皆様のその厚いご支援に心より感謝申し上げます。

うれしい報告を致します。前期12月末、山崎地区ガバナーのLCIF目標値の75.7%を達成しています。MD336においては、全国8複合地区のトップの成績を上げております。後期においても皆様の協力をお願い申し上げます。

クラブシエアリング交付金申請も多く提出され、地域の奉仕活動に役立っています。今回は、地区及びクラブシエアリング交付金ガイドの説明を致します。

シエアリング交付金には様々な活用方法があります。インパクトの高い人道的なニーズに取り組み事業を計画する方法をいくつか紹介いたします。

①クラブシエアリング交付金を使い、これまでにクラブが取り組んできた人道的なニーズに応える奉仕事業をさらに拡大することが出来ます。

②LCIFのグローバル重点分野からテーマを選び、より大きなインパクトをもたらす事業を行うことが出来ます。

③人道支援マッチング交付金を含む他のLCIF交付金の現地マッチング資金としてシエアリング交付金を使うことも出来ます。

④地域の行政や様々な団体がクラブに支援を求めてきた場合には、話し合いを通じて、LCIFの交付金を使った支援が適切かどうかを判断します。

⑤シエアリング交付金申請可能額は、付与されたら直ぐに使わなければならない資金ではありません。シエアリング交付金申請可能額は、付与から15年間保有することが出来ます。これを念頭に、地区やクラブは、時間をかけて、よりインパクトの高い規模の大きな事業を計画し、地域におけるライオンズの存在感をより効果的に示すことが出来ます。

アラートチームは、酒井公一アラートチームコーディネーターの下、前期9月1日「防災の日」に合わせて336-A地区135クラブが、災害を想定したシミュレーションを山崎地区ガバナーが災害対策本部長とな

り実行しました。全クラブとも、被害状況の把握、会員の安否をいち早く対策本部に報告いたしました。最初の訓練としては上出来だと思えます。今後とも、予定日を設定しないで訓練を行うよう企画しています。

残念ながら、新年早々に能登半島を中心とした日本海側をマグニチュード7.6の地震が襲い甚大な被害が発生しました。被災地域の皆様、また直接的間接的に影響を受けている皆様には、心よりお見舞い申し上げます、犠牲者の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。

元旦、午後6時30分頃、災害発生直後から、日本ライオンズアラート委員会のメンバーより、LINEに被害情報、どのように動くか、何が必要か、現地に入れるのか等、LINEが鳴りやまらなかった。

また元旦の夜には、ニュースで知ったブライアン・シーハンLCIF理事長から日本のLCIF理事及び国際理事に向けて、力強い支援のメッセージが届き、翌日には10万ドルの大災害支援交付金が正式に承認されました。そして、LCIFより、会員皆様に2,000円の支援協力要請をしました。

後期も、山崎地区ガバナーの指導の下、LCIFを通じて私たちが一人でも多くの困っている人々に手を差し伸べることが出来るよう、会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



GSTコーディネーター
GMA会員満足度チームリーダー

長尾 和彦 (高松源平)

事業奉仕を楽しみながらクラブが活性化して行くことで、会員の満足度を高めていくことが出来ましたが、それをお手伝いすることがGSTコーディネーターの役割です。今期に入って8か月間その役割に取り組んできました。まず地区内クラブの奉仕を集計し、クラブがどのような奉仕をしているか丹念に見ていきました。が、報告は「奉仕をどれだけ行った」という報告が多く、奉仕をした人や受けた人がどれだけ喜んだか、また喜んでる様子がわかる報告が少なく感じました。それで、会議等の度に奉仕をした人や受けた人が喜んでる様子を報告に含めるようお願いしてきました。

クラブの役員さん達ができるだけ意識して、例会や奉仕のとき、会員たちの楽しんでいる様子とか言葉や写真も含めて記録して報告に含めてほしいと伝えてきました。その成果かもしれないが、今期申請されているガバナーズアワードはクラブの楽しい奉仕の様子がよくわかるものが多くありました。これからもクラブのアクションチームでクラブの活性化に取り組み、会員が喜んで会員拡大に取り組めるよう、GSTコーディネーターとして残りの期間も取り組んでいきたいと思いますのでご協力のほど、よろしくお願い致します。



GETコーディネーター・
GMA新クラブチームリーダー

村井 淳子 (松山つばき)

新システム導入により、支部クラブの会員増強が打ち出された昨年六月、私はGETコーディネーターを拝命致しました。新システムの真の目的はエクステンションでしたがクラブを作ることは大変なので、支部創設も提案されていたわけです。以来、今日までキャビネット会議、公式訪問、地区GAT・GMA・会則委員会などで説明させて頂きましたが計画通りにはいきませんでした。クラブの中には既存のクラブの会員増強の方がメリットがあるという意見も根強くあります。六月からの半期の状況は二支部結成済み、二月に二・三支部結成予定です。私の任期残りの日々、各リジョンに一つずつ支部結成を目指し努力致しますのでご協力下さい。

支部は少人数による機動力の発揮、独立した例会、独自の奉仕が出来、新しいタイプの会員が誕生します。そしてその会員たちが地域に根づき、奉仕の新たな地域ニーズを掘り起こしてライオンズの理解を深めてほしいです。



SCP・FWTコーディネーター

藤岡 志津恵 (高知りょうま)

今期の私の担当は大きく分けまして3つあります。

一つ目は、SCP(スペシャリティクラブプログラム)です。SCPの中の支部作りは小人数から結成でき、起動力の発揮と質の高い賛同者を得ることが出来ます。こだわりの捨て視野を広げWELCOMEの精神で臨んでいただきたいと考えますし、支部クラブへの認識もこれまでにプラス新しい考え方をもち頂きたいと思います。

二つ目はFWT(ファミリーウーマンチーム・女性会員を含む家族会員を招集)です。ヘッドネーションについては336A地区のホームページにて詳細確認をお願い致します。パージンヘアーで31センチメートル以上の規格を基本としております。(白髪・白髪交じりもNGです)前期7月・12月末の半期では40件のヘッドネーションを賜りました。

三つ目は子どもの未来古本募金です。これについても地区のホームページにて詳細確認をお願い致します。

残り半期となりましたが今後も引き続きご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

【委員会】 中間報告および後半に向けて

会員増強に向けての活動報告 一人、一人、の積み重ね



GAT・GMA
会則委員会

委員長

徳本 秀樹 (松山西)

今期山崎地区ガバナーの下で、地区GAT・GMA・会則委員会委員長を仰せつかっております、1R・2Z松山西ライオンズクラブの徳本秀樹でございます。

本委員会の地区委員の皆様、各クラブの会員の皆様には、昨年7月以降委員会の重点事項であります会員増強、退会防止について色々とご協力いただいております事に御礼申し上げます。

3361A地区全体に於いては順調に会員増強が進んでおり昨年12月末現在では期首より純増で18名の状況であります。

その中には、正会員、特典会員、家族会員、クラブ支部会員等も含まれておりますがすべてクラブ会員であり、クラブの仲間が増えることは活性化に繋がります会員の士気向上に繋がる事と思っております。

今年の干支であります「辰年」に

ちなみ会員が増え、上り龍の如くライオンズクラブが発展する事を願っており、引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、これからは今期前半に於ける私の委員長としての活動報告や委員会活動報告をさせていただきます。

まず、次期に向けて2023年4月30日に「次期RC・ZC・地区委員オリエンテーション」が行われ、6月4日に「次期クラブ三役 オリエンテーション」があり、次期委員会委員長として挨拶や山崎地区ガバナーの運営基本方針内の会員増強に対する意気込みも含め活動内容を述べさせていただきます。

今期に入っては高知キャビネット内局会議への出席、7月21日には第1回地区キャビネット会議、11月12日には第2回地区キャビネット会議に出席し、活動報告を述べさせていただきます。

又、9月に2R及び1Rの地区ガバナー公式訪問に同行させていただき、リジョン内の地区役員様やクラブ役員の皆様方に山崎地区ガバナーの基本方針、活動方針に基づきお願い

いやご説明をさせていただきました。

そして、前期中に「地区GAT・GMA・会則委員会」を8月と11月の2回開催を致しました。真鍋隆コーディネーターを始め各コーディネーターや地区委員の方々と意見交換を行い有意義な活動が出来たと感じております。

第1回の委員会に於いては、真鍋隆コーディネーターよりこの委員会の活動内容や委員会としての役割、役割のご説明をいただき、会員増強はもちろんの事、会員維持についてやクラブに寄り添う活動など様々な事を教えていただきました。

各コーディネーターからは今期の主な活動方針の説明があり、活動事項、要望事項などの話を聞くに連れて此の委員会の重要さを改めて実感した次第であり多岐に渡る活動に「出来るかな」と言う不安を感じたのも確かであります。しかし地区委員さんの地区内の状況説明や会員増強、退会防止の考え方を聞いておりますと皆様の意思が前向きであり、皆さんが図らずも同じ考えをされている事に大変心強くも思った次第であります。

第2回の委員会に於いてはRC・ZCにも参加をいただき、会員増強についての状況報告や、事前に問題点、疑問点、不明点のアンケートを取った事項に基づき回答や説明を行いました。会員増強に関しては先般の地区ガバナー公式訪問時に於ける各クラブから出された増強予定人数に関して、どのクラブも増強プラスの考えで増強予定集計が370名ありクラブの皆さんの熱意の状況を説明しました。



又、GMA会員満足度チームの長尾和彦チームリーダーより各クラブへの会員満足度調査の内容説明や今後の対応についての説明がございました。此の調査データを基に各クラブの活性化や会員獲得の参考と成るべきものとして提供したい旨の考えも示されました。



ここで皆様、各クラブでの会員増強はライオンズクラブの存続維持の目的でもあると思います。やはり一人でも多くの仲間と奉仕活動を行う

事がライオンズの使命の一つではないでしょうか。その様な中、今期のパティ・ヒル国際会長が会員拡大として「ミッション1.5」の目標を掲げられました。これは2027年7月1日に全世界の会員数を150万人達成をめざすと言う取り組みであります。

現在会員数は約134万人です。から約1割増の増強が必要な事に成ります。昨年の11月には福岡に於いて、シン国際第二副会長の「ミッション1.5セミナー」があり拝聴して参りました。会員減少への危機感と増強の意義などこの目標を達成する意気込みや日本に対する期待などを話されました。これからの約3年半で目標達成のカギは次年度、次々年度へ引き継がれ色々な施策が出て来ると思います。が会員の皆様には引き続き会員増強、会員維持を宜しくお願い致します。

そして、準地区の委員長として336複合地区の「会則マニュアル編集委員会」に携わりました。今まで何気なく参考にしてきた「MD336運営マニュアル」が毎年出される国際理事会方針書に基づき見直しされている事に驚くと共に今迄携われた方々に敬意を表します。その編集委員の一人として現在も資料

見直し中ではありますが、間もなく皆様のお手元に最新版が届くと思います。この様な編集委員会の活動に依り、分かりやすく解説された資料は他の複合地区でも余り作成されていないと聞いておりますので十分に活用して下さい。私も内容を見直す事により理解が深まり大変勉強になります。編集に携われて良かったと思っております。

後期には、第3回、第4回の地区キャビネット会議や山崎地区ガバナーの集大成ともいえる第70回336-A地区年次大会や第70回複合地区年次大会も控えており、あと半年間高知キャビネットの一員として走り続けたいと思います。

会員増強、会員維持に向けても気を引きしめ緩めることなく、山崎地区ガバナーの目標である期末時に1クラブ1名以上の純増達成に向けて地区委員と共に頑張りますので、地区キャビネットの皆様、地区役員の皆様、そして各クラブの会長様始めクラブ会員の皆様方のご理解、ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。中間報告及び後半に向けての思いを述べさせていただきます。

これからも宜しくお願い申し上げます。

上期の報告と残り半期の活動とご協力をお願い



青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会
委員長

吉村 政男 (土佐)

青少年・次世代を担う子どもたちの健全育成のために我々に今何が出来なのか、何をすべきなのか

LCIF・ライオンズクラブ国際財団に我々がすべき献金の意義

ライオンズクエスト・児童生徒たちの教育に悩む先生方に手を差し伸べるツール、クラブ員も理解し普及

半期が過ぎ山崎前委員長のご指導と各リジョンの委員の皆様方のご協力によりつつがなく半期が過ぎました事に心からの感謝を申し上げます。残る後半につきましてもご協力とご支援をお願いいたします。

コロナ感染症が5類に移行され集団活動も活発化される中で今期から本委員会に移行されました薬物乱用防止教育に置きましては、認定講師講座も全てのリジョンで開催又予定されており順調に進んでいます。クラブ員の皆様方にもご承知の

ように薬物乱用が低年齢化するとともに拡大しています。平成25年大麻事犯検挙者数と令和4年を比較すると全体で3.4倍、30才未満5.4倍20才未満15倍です。又市販薬の過量服薬（オーバードーズ）による依存症の増加、薬物乱用事例の56.4%を占めています。壊れた脳は元に戻らない。このような現状を危惧し、少しでも多くのライオンズメンバーに薬物乱用防止教育認定講師講座を受講され認定講師として若年層への普及活動に努めて戴きたいと思えます。



子ども食堂支援ではまるがめ製麺キッチンカーのご協力を頂き2月末より4か所で開催準備を進めていましたが能登半島地震が発生しそちらへの奉仕活動を優先する事で中止になりました。





LCIFへの支援金について、世界には我々がよく目にするユニセフ、赤十字国際委員会が有りますがこれらの機関の収入源はユニセフで70%、赤十字では87%が各国政府からの拠出金で有り支援機関として民間100%のLCIFは世界に誇れる支援機関だと自慢したいと思えます。ライオンズクラブ員としてこの支援に対する献金に協力しましょう。

今期もガバナーより一人100ドル献金をお願いしていますが月10ドル、20ドルの積み立てでもOKです。1年間に100ドルをお願いいたします。ライオンズクエストワ



国際平和ポスターコンテストについて、多くのクラブでのご尽力により応募総数82クラブ、2,844枚のポスター集計が出来ました。今回は優秀な作品が多く中でも地区優秀作品が複数でも最終候補となり国際本部に送られました。



どちらの地域でも現在の教育現場での悩みを尋ねますと、いじめ、ルールが守れない、静かに注視出来ない、等などアカデミックスキル(学力)の悩みで無くライフスキル(生きる力)への悩みばかりです。ライフスキル教育が整い、子どもたちがライフスキルを身に付ければ自然に学力も向上すること等実証されています。

生きる力を身に付けさせ未来を担う子どもたちを育てるライオンズクエストの普及、促進に力を注ぎましょう。

クシヨップの経費でも交付金から約75%の支援を頂き、残り25%が地区、開催クラブ負担となり、クラブはわずかな経費負担で開催できています。LCIF資金は身近で利用されています。一人100ドル献金に改めてご協力をお願いいたします。

ライオンズクエストについては7

月に高知LC、8月には鳴門LC、土佐LC主催によるワークシヨップが開催されています。又8月には6R、7Rの合同でクラブ員向けの体験セミナーを開催しています。そして4R、5Rでは高松東LCのお世話でクラブ員向けのワークシヨップが開催され多くの方が体験しライオンズクエストの意義に共感されたことと思います。



「地球沸騰化」 防ぐのはあなたです



環境保全・ 保健福祉委員会

【委員長】

井出 幸彦
(今治東)

環境保全・保健福祉委員長として早くも半年過ぎました。委員会活動に多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。そして多くの皆様と出会えたことを大変嬉しく思います。今まで知らなかったアクティビティーに取り組まれているクラブがたくさんある事にも驚きました。

環境に関しては、国連のグテレス事務総長が、昨年7月に「地球温暖化は終わり。沸騰化の時代に入りました。」と発表されました。温暖化と沸騰化の違いは何か、どちらも気温上昇は共通ですが、沸騰とは液体

から気体へ相転移する事を意味しています。つまり相転移に値するような劇的な変化が起こるという事です。それがいつどのように起こるのかは解っていませんが、少なくとも不可逆的な熱暴走（激的な変化）をもたらすという事だけは解っています。それが最近言われ始めたティップングポイント（臨界点）です。我々に残された時間はもうないと言われています。ですが、温室効果ガス排出量をゼロにするためには30年は掛かります。「世界の終わりを受け入れるような行動は止めるべき

です。」と警告している学者もいます。日本はあまり知られていませんが、世界で2番目にプラスチックゴミを出す（一人当たり）国です。また、食品ロスは総量では世界14位ですが、一人当たりでは1位の中国とほぼ同等の2位です。一般的な日本国民の感覚では、勿体ない文化を持つ日本人はゴミ排出量や食品ロスもかなり少ないとお考えだと思いますが、認識を改めて頂きたいと思います。買い物をする際には包装の少ない商品を購入しましょう。家庭での食品ロスを防ぎましょう。

世界気象機関が発表した世界の平均気温は1900年までの50年間に比べて1.4℃上昇し、その影響でそのろの巨大台風が発生、線状降水帯の多発などの異常気象が頻発しているというのです。この異常気象という言葉は環境関連文書や天気予報でも既に死語になっており、当たり前になつていて、もう異常ではないと考えられていますので使われておりません。

温暖化によって、日本はいずれ亜熱帯に属することになり、四季から二季になります。雨季と乾季になり、四季の美しさは失われてしまします。

今期方針の環境保全では紙の使用

量削減を掲げています。すべてに言えることですが、無駄を省くという事が基本です。無駄なもの、一度しか見ないもの、そのようなものでプリントして廃棄しているのが現状です。その無駄を省く事がライオンズクラブに求められていることを十分理解して頂きたいと思います。また車のCO₂発生やガソリン消費でも、ラフなアクセルワークで無駄が発生します。これらの無駄を省く事から始めましょう。

海岸、河川のプラスチックごみの清掃についてはマイクロプラスチックの生態系への影響は未解明な部分がありますが、その害の可能性を指摘されたのがアメリカ人のDr.ナン





シー・メスマーさんでライオンズクラブメンバーです。この方が国連へ働き掛けて今日のプラスチックゴミの削減に繋がっています。昨年のボストン国際大会の時にこの方のセミナーが開かれていました。

公園、公共トイレ、道路の清掃については、長く熱心に取り組んでおられるクラブが多くあり感謝しています。今後も続けて頂きたいと思います。

保健福祉では、四献運動推進（献血、献眼、献腎、骨髓移植）+臓器提供に関するものでは8月に中四国ブロック血液センターでの研修があり、献血事業の重要性をより理解す

ることができました。また2リジョン、香川県、高知県での献血推進大会へお招き頂き出席させて頂きました。血液の不足は恒常的に続き、現在の主力は40代、50代の献血者がメインで、10年後、20年後激減してしまう恐れがあり、10代、30代の若い方の献血者が求められています。ごく普通に輸血が行われているにも拘らず献血者の減少が続き、それを食い止めるために赤十字社を始め医療関係者が必死の努力をされています。原因は献血の重要性の理解が不足していると考えられます。その解決策は教育しかありません。そこで、我がライオンズクラブが盛んに取り組んでいる薬物乱用防止教室において献血の重要性を理解して貰う為のページを追加して教育を実施して頂きたいと思っています。また、高知県骨髓移植講演会やドナー登録会にも出席させて頂きましたが、説明員の資格を取得され取り組んでおられるクラブがあることを初めて知りました。この骨髓移植、臓器移植もドナーになる事には抵抗があり、ドナー探しに苦労され、移植が受けられず命を落とす方が多くいらっしゃいます。移植を受けることは特殊な例を除いて100%賛成ですから、やはりその重要性の理解ができ

ていないという事だと思っています。それは、以前シカゴ科学産業博物館を訪れた際に強く感じました。そこには人体標本が展示されていて、たまにま通りかかった幼稚園児に引率の先生が「これが人体です。」と説明されていていました。日本ではありえない光景、直視する姿勢に大変驚き、感心しました。こういう教育が臓器移植に繋がっていると思い教育の大切さを痛感しました。献血と同じくページを追加して教育するべきではないでしょうか。

社会福祉の推進では糖尿病防止活動を推奨しています。日本人にも糖尿病患者が増えています。国際大会では毎回、糖尿病セミナーが開かれ、多くの受講者がいます。そのセミナーの中で軽い運動が紹介され、ダンスや集団で大会会場内外を歩いている姿を見かけます。セミナーへ参加すれば同じ病気を抱えた者同士の友情を手に入れる事ができるでしょう。

不要眼鏡のリサイクルでは、全世界のライオンズクラブが取り組んでいる目の事業ですが、勿体なくて捨てられず、皆様の家庭に眠る不要なメガネでお役に立てるのですからこんな嬉しいことはありません。集めたメガネを4月21日の年次大会へご

持参ください。会場に収集箱を設置しますので、そこにお入れください。当地区の奉仕の力を結集し一年の奉仕活動を称えあいましょう。

コロナウィルスが5類移行となり久しぶりにボストン国際大会、マニラOSEALフォーラムに参加させて頂いて強く感じたことがあります。一つはボストンでパレードの後、知り合ったホンジュラスの方にセミナーへ行こうと誘われ一緒に行ったのですが、次から次へとセミナーへ行こうとするのに驚きました。大変熱心に情報を取りに行く姿勢は日本人がすっかり忘れてしまったのではないのでしょうか。もう一つは、日本がウサギとカメのウサギになつてしまつて、30年間昼寝している間にコツコツと努力をした国々が日本を追い越して行つたような気がしました。日本人の考え方や社会システムのデジタル化がかなり遅れているように思われます。

地球沸騰化の危機に残された時間はもうありません。また、失われた30年を取り戻す為にも、今までの常識にとらわれない思い切った大転換をライオンズがリードして行かなくては行けないのではないのでしょうか。

日頃の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

半年を振り返って



YCE・国際関係・ライオンズレオ委員会

委員長

馬場 信一 (高知南)

YCE・国際関係・ライオンズレオ今期のYCE・国際関係・ライオンズレオ委員会の委員長として大役を仰せつかり、はや半年も過ぎました。

何の経験もなく、何をどうすればいいかさへ解らず、右往左往する日々でしたが幸いな事に前期の委員長だった高松葵LCの川田博文氏から色々アドバイスを頂き、少しづつでも役目を果たせるように頑張っている今日この頃です。

ただ何年も続いているコロナ禍の中で、YCE交換がなかなか捗らず、今期の夏も336-A地区ではYCE交換事業が困難な時期でも可能な事業の予算(案)作り、計画などを検

討したいと思っております。

ただそんな中でも、YCE・国際関係アクティビティ(国際交流会意見交換)は活発に行われています。

2024年1月22日までに、綾歌郡ライオンズクラブ9名、阿南ライオンズクラブ4名、今治中央ライオンズクラブ4名、大洲ライオンズクラブ6名、土佐清水ライオンズクラブ4名、四万十ライオンズクラブ4名、松山センチュリークラブ20人、高知よさこいライオンズクラブ11名、高松葵ライオンズクラブ5人、高知北ライオンズクラブ2名、高知桜ライオンズクラブ8人、坂出ライオンズクラブ11人、伊予小松ライオンズクラブ5人、宇和ライオンズク

ラブ5人、西条ライオンズクラブ9名、新居浜ひうちライオンズクラブ11人、高知りょうまライオンズクラブ9人、高知レオクラブ、宿毛レオクラブ等々各クラブから、各国の多数の留学生との交流会の活動報告を受けております。

又昨年2023年12月4日に開催された平和ボスター委員会では、澤辰水議長初め、各地区役員の方々と意見交換しながら、最終4点に選ばれた作品の中から最優秀作品を審査させて頂きました。どの作品もすばらしかったのですが、最終的に336-A地区松山湯築ライオンズクラブの山内咲和さんの作品が選ばれました。

世界情勢が不安定な中、まさに地球上の生物、自然、環境もすべて含めておだやかに過ごせる事を祈る気持ちで伝わってくる作品でした。このような作品を審査する会に出席するのは初めてでしたが、若い方々が平和を考えその思いを作品にするという機会があるのは、とても有意義な事だと改めて思った事でした。

今後の予定として、第4回YCE委員会を高知で開催予定です。皆様と活発な意見かわしつ、懇親を深められたらと思っております。

高知レオクラス (スポンサークラス 高知ライオンズクラス)



◆9月30日(土)

薬物乱用防止教育認定講師養成講座受講
場所：高知市文化プラザかるぽーと

◆10月29日(日)

JR旭駅前清掃と福寿園慰問



YCE・国際関係

国際交流意見交換

土佐清水ライオンズクラブ

◆10月22日(日) 場所：西村速夫氏宅

地域の外国人との茶道体験会を行い、本市在住のアメリカ人男性と、ALTとして市内に滞在している男性1名と女性2名の計4名、クラブ会員は2名が参加しました。

自宅に設けられた茶室にて、茶室への入室・お菓子の食べ方・抹茶の点て方や飲み方などをご教授いただき実践しました。様々な所作の意味を教えてください、日本の文化についての学びがありました。



伊予小松ライオンズクラブ

◆12月17日(日) 場所：事務局

おもちつき大会と豚汁など田舎料理で交流会

ALT(外国人)と母子寡婦福祉協議会(母子家庭世帯)と就労支援施設ピースとヴィセ、ご近所の駐在さん、近隣の方々などをお誘いし、おもちつき大会を行いました。

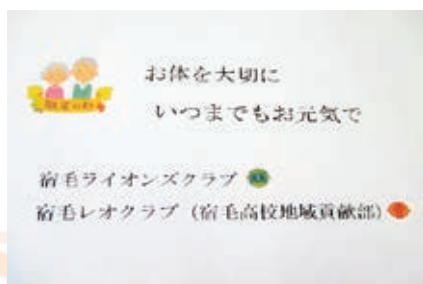
外国の方々にお餅つきを体験していただき地元の方々との交流を深めつつ日本の文化を楽しんでいただきました。

田舎料理メニューは豚汁、大根おろしのお餅、きなこもち、ぜんざい、よもぎもちなど。母国でのご家族の話や、母国でしていた仕事のこと、西条市に来てどのような暮らしをしているかなど、皆さんと楽しくお話をしました。



ライオンズレオ委員会

宿毛レオクラブ (スポンサークラス 宿毛ライオンズクラブ)



◆9月13日(水)
寝たきり高齢者宅へ
プレゼントの送付

敬老の日に合わせて行っている寝たきり高齢者宅への慰問は、新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度同様慰問出来なかった為、9/18(敬老の日)着でお茶菓子を送付。メッセージカードを作成し添付しました。



東予ライオンズクラブ 結成60周年記念大会

東予ライオンズクラブ MC委員長 森 仁志

令和5年11月11日(土)、今治国際ホテルにて県内外、又姉妹クラブであります台湾の皇佳獅子會からもたくさんのご出席を賜り、約200名の皆様ご参集の下、東予ライオンズクラブ結成60周年記念式典が盛大に開催されました。

式典では、愛媛県知事・西条市長・地区ガバナンスポンサークラブ(西条LC)より祝辞を頂戴し、スポンサークラブ・姉妹クラブへの感謝状贈呈、記念事業の発表に合わせて日頃より青少年事業へのご協力をいただいております4団体様へ感謝状を贈呈し、結びに岡山みらいライオンズクラブとの友好クラブ締結式を行いました。

今回記念事業では、60周年のスローガン「あなたのそばにライオンズ」の合言葉の下、各スポーツ大会ではプロ選手をお招きし教室を開催、又、子供たちには笑顔で思い出に残る日を楽しんでいただきたく、スポンサーinビバスポルティアSAIJOを約400名の子供たちに参加をいただき開催いたしました。他に壬生川駅前の花壇を整備、西条市消防署には応急手当普及啓発資材機材を多くの市民の皆様のお役に立てるよう贈呈させていただきました、全部で11の記念事業を開催いたしました。

式典後の祝宴では、レモン・松屋の素晴らしい歌声と共に、ご参加いただいた皆様方とも交流がはかれ、大変盛り上がったひとときを過ごす事ができました。

当クラブは、1964年(昭和39年)1月18日愛媛県で16番目のクラブとして、西条ライオンズクラブのスポンサーによって壬生川ライオンズクラブとして結成され、1972年(昭和47年)に東予ライオンズクラブと改名し現在に至っております。この60周年という節目に真の奉仕を今一度メンバー全員で考え、次の70年、100年と心を二つにし、総力を挙げて取り組んでゆく所存でございます。当日ご参加いただいた皆様にはこの場をお借りしまして再度厚く御礼申し上げます。



今治中央ライオンズクラブ 結成60周年記念式典

今治中央ライオンズクラブ 幹事 渡辺 俊

令和5年12月3日(日)に各関係各位のご尽力により、今治中央ライオンズクラブ結成60周年が今治国際ホテルにて開催されました。

ご来賓の徳永今治市長をはじめとする当クラブ地域の皆様、336地区山崎地区ガバナールをはじめとする地区委員の皆様、また、2R佐藤RC、羽倉ZCをはじめとする各クラブの皆様、そして何よりスポンサークラブの今治ライオンズクラブの皆様、あわせて250名以上の皆様の参加していただき、盛大に記念式典が行うことができました。当会、白石会長挨拶の後各来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。その後はスポンサークラブ、チャーターメンバーへの感謝状、故西原元地区ガバナールへの献眼への感謝状、アイバンクへの寄付、記念事業の発表と厳かに行うことができました。

祝宴は、チャーターメンバーによる太極拳とメンバーが参加する「女子ジャズ向上音楽隊」の演奏、又前日行われた記念コンペの表彰と盛り上がり、参加いただいた各クラブメンバーの皆様と楽しい時間が過ごせました。

半年という短い期間に行いました記念事業は、青少年の食育をテーマとしたさかなクンの講演、人の交流の港として再出発をし賑わいを取り戻した今治港への愛媛県産間伐材のテーブルベンチの寄贈、県内外男女合わせて20チーム参加のミバスケケットボール大会、国際交流として今治在住の4名の皆様と45名での交流、今治市主催のピーチフェスティバルにて、ゴミ拾い大会への賞品提供と2チームの参加、今治市庁舎前の花壇の整備と受け継いできたアクトのブラッシュアップと時代に応じた新しいアクトに取り組みました。

1963年10月24日に今治ライオンズクラブのスポンサーにより結成され60周年の今、能動的に変わる時代に、過去を尊重しつつ新たな時代に向け、さらに社会貢献を行ってまいりたいと思います。





小豆島ライオンズクラブ

結成60周年記念大会

小豆島ライオンズクラブ 大会委員長 丹生 年一

2月11日(日)は、60年前(1964年)に高松LCをスポンサーとして、日本で714番目、香川県で8番目に誕生した我がクラブの記念日。結成時の高い理想をベースに地域で愛される活動や恩恵の届かない方々、青少年育成や地域の特性を考慮したアクティビティを実施してきた。中には50数年継続している事業も幾つかあります。事業継続に努力された諸先輩の苦勞に敬意を評すと共に地域になくてはならないクラブになりました。今後も新たなニーズを加味しながら継続する予定です。周年の記念事業は①、「香川県立小豆島みんなの支援学校」に校訓碑、校歌額、児童生徒の送迎待ちベンチ三脚の設置贈呈 ②、クラブ主催の「小豆郡学童軟式野球選手権」の優勝旗を30数年ぶりに新調贈呈 ③、音楽を旨とする児童、生徒、学生の発表の場として56年継続中の「小豆島音楽フェスティバル」の特別出演の小豆島中央高校、土庄中学校の吹奏楽部に奨励金を贈呈 ④、能登半島地震の被災者支援として日本赤十字に義援金を贈呈 合計260万円の事業費でした。特に昨年4月に開校した支援学校への寄贈は、全て特別製作品なので、内容規模、デザイン、設置場所と予算内での対応が必要で、担当者が学校との調整に苦勞したと聞いています。昨年12月22日の贈呈除幕式は、保護者をはじめ報道各社が取材されNHKでは何度も紹介されました。記念式典は土庄町立中央公民館で、池田県知事、両町長等をはじめ、山崎地区ガバナーとキャビネット役員と23のブラザークラブ会員を含め総勢160名参加の式典となりました。ここで特筆すべきは、運営のスタッフ(照明、音響CD、ビデオ製作映写設備と操作)は全て我がクラブ会員が取り仕切り、公民館職員は一切補助無しです。司会進行も肅々と流れ、1時間10分の式典時間も数十秒の遅れで終了。毎年の事業を「We Serve」の精神でこなしてきた結果です。そして当日の参加者は会員100%出席であった事も報告致します。



中学校吹奏楽部の記念演奏



優勝旗 新調



校歌額除幕



校訓碑除幕



三木さぬきライオンズクラブ

結成35周年記念式典

三木さぬきライオンズクラブ 会長 浦野 裕之

わがクラブは平成元年(1989年)2月12日に長尾ライオンズクラブのスポンサーにより誕生し今年35周年を迎えることができました。

記念式典にはご来賓として、当クラブのメンバーでもある衆議院議員の玉木雄二郎様、また同じくメンバーである三木町長伊藤良春様、336-A地区山崎勝彦地区ガバナーをはじめ地区役員、スポンサークラブ、ブラザークラブ、姉妹クラブなど多数の皆様の臨席を賜り、盛大に結成35周年記念式典が開催できました事に心よりお礼を申し上げます。

大会委員長I内原巧の歓迎の挨拶に続き、来賓、クラブ紹介の後、会長挨拶、スポンサークラブへの感謝状と記念品の贈呈、記念事業報告は、女性会員のI入江由美子が発表し、会長より伊藤町長へ目録を贈呈いたしました。35周年記念事業は、三木町役場正面駐車場に、5周年記念事業で寄贈した時計台が傷んでいた為、新しくソーラー式電波時計3面(3台)を設置しました。

式典は定刻通り進行ができ、祝宴へと移り、乾杯のご発声を4R-3Z ZCのI山内義広様にいただき、続いてアトラクションでは、地元である田中小学校の児童らによる太鼓演奏の披露で、沢山の拍手をいただいていた。次に、地元の朝倉獅子連による獅子舞の披露では、小さな子どもらで舞い踊る獅子や迫力ある大人による獅子舞で、会場内を練り歩き楽しませていただきました。あつという間に時間が過ぎ、ライオンズローアを地区委員のI泉川豊宏様の3声にて雄叫びをいただき無事閉宴となりました。最後にまた会う日までを、会場の皆様とともに手をつなぎ行いお別れいたしました。

式典後、振り返ってみるとクラブ紹介で、最後の当クラブの紹介の時、本来なら三木さぬきライオンズクラブと発声するところを、姉妹クラブの三木ライオンズクラブと言ってしまい、誰も立ち上がれない事態が発生し笑いが起きました。会場内での笑いで緊張もほぐれ、後の私の会長挨拶が無事にできたことは、まされもない事実です。

これからも40周年に向かって、地域から支持されるよう、ライオンズクラブのモットーである「We Serve」に努めていきたいと思っています。





高松源平ライオンズクラブ 結成30周年記念大会

高松源平ライオンズクラブ

結成30周年記念大会委員長 香西 繁治

2023(令和5)年12月3日(日)我が高松源平ライオンズクラブ結成30周年記念大会が高松国際ホテルにて開催されました。

当クラブ名由来でもあるこ源平合戦の地に八栗ライオンズクラブのスポンサーにより1993年12月5日に結成され、当初より地域密着型のクラブとして地域に溶け込んで歩んできてまいり、このほど、記念事業は、高松市消防局東消防署への消防広報車、春日地区自主防災会に空撮ドローンを贈呈することができました。

また、近年のコロナ禍で途絶えていますが、トルコ、ニュージーランド、マレーシア、台湾より海外留学生の受け入れ、マレーシア、イタリア派遣などのYCE事業もクラブ主要事業として行ってきました。

クラブ結成30年とライオンズクラブの中では、まだまだ新しい歴史の浅いクラブですが、一昨年度、蔵本守雄ガバナを輩出し、ここ数年新会員が増え、当日の式典、祝宴、記念誌に至るまで、初めて周年を経験する会員が担当しました。

祝宴では沖繩エイサー太鼓で出席者の参加もあり会場内は、大いに盛り上がりしました。

初代幹事の私も過去の資料をみながら30年のクラブ歴史を振り返り、次世代へと繋げることができ、大任を果たせたかと思っております。

最後になりましたがこれからも地域の安心安全を見守り、地域に寄り添う奉仕事業を続け邁進したいと思っております。



観音寺中央ライオンズクラブ 結成30周年記念式典

観音寺中央ライオンズクラブ 創立30周年記念式典

大会委員長 石川 正伸

私達、観音寺中央ライオンズクラブは創立30周年式典を、ご来賓の方々、地区役員、地区委員の方々、ライオンズ関係の皆さまのご臨席のお陰で、無事に盛大に終える事ができたことに感謝致します。

本来なら2024年3月の予定でしたが、会場の予定により急遽11月に開催すると事になりました。我がクラブは会員数20名ばかりです。時間もなくその中で、メンバー一丸となつてどのようにお迎えしたらと、何をすれば式典は厳かに、祝宴は楽しくと言うコンセプトの中で相談し協力しあつての開催でした。

特に、毎回の記念祝宴の音楽演出には好評を得ています。祝宴は色んな企画し、演出を致しました。

祝宴会場を一つの空間と位置付け、オープニングコンサートで演奏Welcomeの時の音作り厳かに、Bangsax fluteでの落ち着いた演奏、祝宴の導入では心を和やかに、いい雰囲気醸し出せたと思います。

祝宴半ばでの、会長率いるロックバンドがよりいっそう雰囲気最高潮に導き出したと思います。

このように、みんなが楽しんで貰えばいい、ただの形式ばった物ではダメだと思ふような演出になりました。音楽は心の泉です。

このような気持ちで、地域社会の生活、文化、福祉及び公徳心の向上に寄与出来れば嬉しい限りです。

皆さんが喜び、私達、観音寺中央ライオンズクラブのメンバーも楽しくてたまらない位、さわいなり、ハメ外しながら誠実にライオンズを確立していきます。

新入会員獲得にもライオンズは楽しく、面白いと発信していきたいと思ふいます。





徳島すだちライオンズクラブ 結成20周年記念式典

徳島すだちライオンズクラブ 結成20周年記念式典

令和5年11月19日(日) 15時〜16時／徳島グランヴィリオホテル

11月天高く晴天のもと徳島すだちライオンズクラブ20周年記念式典が開催されました。

会式前に壇上中央に飾られる飾花へ一本一本来場者の手で飾り付けが行われ飾花が完成してゆく皆様一人一人のお陰様で今があるとの感謝の気持ちが伝わるメイキングがされ、堀江和規会長の開会コングによりお祝いムードいっぱいの開式となりました。

国歌、ライオンズクラブの歌の後、幹事山崎律子により、来賓、地区役員、地区委員、続いて出席クラブが華やかに紹介されました。

結成20周年記念式典大会委員長大川則による歓迎の言葉では、今日この日を迎えられた喜びと感謝の気持ち、結成当初からの困難も先輩クラブの協力や、会員一人一人の努力によつて支えられた道のりの言葉は心に刺さる歓迎の言葉となり、続いて会長 堀江二規の挨拶では、結成当初の粗削りだったクラブが地区全体のクラブに助けられつづつ、つづつに参加できその結果得られたのは知識と経験だけではなく「勇気」をこもも与えられた、このA地区でみなさまとライオンズを実行してゆき25周年30周年には振り返るべき大きな足跡が残せるようにとの感謝と決意の感じる挨拶でした。

来賓祝辞では山崎地区ガバナー、石井第二副地区ガバナー共にクラブへの感謝と期待のこもった激励は胸熱くなる祝辞でした。来賓挨拶では衆議院議員仁木博文は同クラブの会員であり、同式典大会名誉委員長でもあるその言葉には未来を見据えたクラブ作りとアクトへの思いは会場全体の空気が引き締まるほど素晴らしいものでした。

記念事業発表・結成 20周年記念事業部会長 芝 秀人

「ひとつ、徳島市東新町商店街にベンチ3脚の贈呈、ひとつ、徳島市の幼稚園にて外国の子供達と交流する機会の提供、」を発表し、結成以来、青少年育成事業を中心に奉仕活動を展開してきた事と、今回将来の日本を背負う子供達と外国の子供達との交流は外国の文化と接する機会の提供で、新たな奉仕の二面であり今後の継続事業として育てていくと、力強く締めくくられました。

記念ゴルフ大会成績発表 記念ゴルフ大会部会長 三居 誠

前日のゴルフ大会はあいにくの雨天と寒風によつて散々だったスコアとの声も多かったようですがそれでも楽しくプレー出来たようで、大賑わいの笑顔溢れる成績発表となり、順位別ドラゴンアピンの豪華景品を手にして熱気ある成績発表であった。

盛大に行われた結成20周年記念式典は、8R・RC喜田和彦のライオンズローア、徳島すだちLC前会長、三居誠の閉式の言葉、会長 堀江和規のゴングで滞りなく締めくくられました。

記念祝宴

徳島すだちLC 生田素久氏の開宴の言葉で熱く盛り上がり、8R・2Z・ZC山口裕史による乾杯の発声で盛大にスタートしました。

余興では徳島すだちLCの会員でもある俳優、歌手、舞踊家の椿欣也さんによる庄巻極まる、素晴らしい踊りと歌声で更に熱く盛り上がり、大会委員長の大川二則氏の和太鼓での共演は一段と熱く盛り上がるものとなり会場が揺れるほどの演舞でした。

その興奮は、お酒と料理を目の前にし、アクト談義にも花が咲き最後の、336-A地区GMA新会員チームメンバー「宮昭夫氏の万歳三唱、徳島すだちLC友成健士の開宴の言葉まで持ち越し、大変な盛り上がりを見せた大成功の記念祝宴となりました。



8 R M C ・ 地区誌 ・ SNS委員 門田 隆



高知市社会福祉協議会との「高知市災害ボランティアセンターの活動に関する協定」 締結及び 令和6年能登半島地震救援募金活動

7Rアラートチーム 橋本 孝志

近年、我が国はもとより世界各地で気候変動による風水害、地震等による被害は年々甚大なものとなっています。また、高知県においては近い将来に南海トラフ地震の発生が予測されています。ライオンズクラブでは、災害支援活動に力を発揮すべく災害発生時の被災状況の把握、地域住民等の動向等の情報収集や支援物資の確保と供給網の確保等必要な支援の準備を行っているところです。

この流れの一環として、物資や資金の供給とともに災害発生時に社会福祉協議会を中心として立ち上げる「災害ボランティアセンター」の活動にライオンズクラブも加わり、日頃から地域に密着した活動を行っているライオンズクラブならではの活動を展開するため、高知市内の13ライオンズクラブが高知市社会福祉協議会と「高知市災害ボランティアセンター」の活動に関する協定」を締結しました。

締結式は、12月13日(水)午前9時30分から高知市丸ノ内の高知市社会福祉協議会会議室で、報道機関各社(テレビ2局、新聞社2社)の取材を受ける中、社協の吉岡会長、ライオンズクラブの代表として高知ライオンズクラブの豊岡会長での協定書調印が行われました。また、山崎地区ガバナーにも出席いただき、あいさつの中で、ライオンズクラブのアラート活動の目的、役割、重要性

等を熱く語っていただきました。この模様は、当日のTVニュースで放映されるとともに翌日の新聞紙面で紹介されました。

年が明けて、元日に、能登半島地震が発生し、多大な被害と被災者の状況が報道されています。このようなか、高知市社会福祉協議会から「高知市における災害義援金の街頭募金活動」の参加要請がありました。各クラブへの連絡等の時間がない中、藤戸6Rアラート委員とともにライオンズクラブを代表して参加しました。1月14日(日)午前10時から約2時間、高知市中央公園北口で社協職員、災害支援ネットワークの仲間たち約30名と募金を呼びかけました。短時間ででしたが、約39万円のご厚志をいただきました。今後とも幾度となく支援を行うことと思いますが、その第一歩に携わることができよかったと思うとともに、改めて一刻も早い復旧、復興を願うところです。

災害はいつ何時起こるかわかりません。発生に備えて対策を怠らないことと、発生後の立ち直りのための支援を日頃から考えておくことの重要性を痛感しています。アラート活動に関心とご理解をお願いします。



◆クラブアクティビティのご紹介◆

8R-1Z 子ども食堂支援 徳島マリリンピアライオンズクラブ

その日、11月下旬で海沿いではあるものの、20度近い気温でとても暖かく美しいマリリンビューを背景に子ども食堂日和となった。

用意されたメニューは焼きそば、おにぎり、ジャンボフランク、フライドポテトだが、調理は会場の和彩美（徳島マリリンピアLCC会員）スタッフがしており、流石はプロの味付けでとても美味しく出来上がっていた。味は上々且つ、大人でも満腹になるほどの食事を口いっぱいにはおぼつた大変満足していた様子だった。子供達の笑顔とはしゃぎ声はスーパースターボールすくい（無料3個プレゼント）や、地元歯科医師による風船シューでも見られた。

同伴した保護者達も、子供がとても嬉しそうだった。こんな良い笑顔見たことが無い。こんなところだつたらまた来させたい、等の喜びの意見が多く、受付時に渡されていたアンケートには、来てよかった、またしてほしい、等の喜びの意見が多くあり大成功だったと言える。

帰りには沢山のお土産を手にして、ありがとうございました。と大きな声で手を振り子供達は帰っていった。参加した徳島マリリンピアLCCのメンバーも近年にない心地よさが残ったアクティビティとなった。

今回の反響を見て、やはりマリリンピア地区に子ども食堂が必要と、俵さわ 和美彩美では、県に子ども食堂登録申請し、継続的にやってゆく方針である。徳島マリリンピアLCCの子ども食堂継続アクティビティはこの場所になるだろう。



8R-2Z 一つの継続事業 徳島吉野川ライオンズクラブ

徳島吉野川ライオンズクラブは1991年の結成以来、吉野川の早朝清掃と2005年から始まった徳島市動物園植物園に桜の植樹と下草狩りの奉仕を継続事業として現在も続けております。

吉野川清掃は年間に3〜4回、早朝に行っております。時期に比べゴミの量は減りましたが、それでも河川敷の草むらの奥には家電や、タイヤ、建築資材などの不法投棄が後を絶ちません。毎回「時間程でゴミ袋に30個ほどのゴミが集まります。」

また、植樹は動物園に毎年少しずつ「蜂須賀桜」、「ソメイヨシノ」、「ヒマラヤ桜」、「しだれ梅」などの苗を、のべ1000本以上を植えてきました。枯れる木もあり、年に4回ほど下草刈りをして木の育成にも努めてきた結果、現在では大きな木も増え桜の森となりつつあります。

今後もこの継続事業を続け市民の皆様喜んで頂けるようにがんばっていききたいと思っています。



9R-1Z 徳島県小学生・中学生剣道大会 徳島眉山ライオンズクラブ

徳島眉山ライオンズクラブ主催の徳島県小学生剣道大会が50回目となりました。

令和5年12月17日（日）徳島市立体育館にて執り行いました。

大会にあたり徳島県知事・徳島市長・剣道連盟会長・ライオンズクラブ国際協会336A地区の皆様にも御臨席を賜りご祝辞を頂きました。

近年のコロナ禍の為、4年振りの開催で徳島県下の小中学生約500名と多数の参加者の中、会場は熱気に包まれ熱い声援を受けながら終日熱戦が繰り広げられました。

この大会は歴代のクラブ会員により青少年健全育成を目的として長く続けて参りました。剣道は、「礼に始まり礼に終わる」という教えの基、世の中では子供達のみならず大人社会で「いじめ」を目にします。子供達に人を敬い、人として命の尊さ大切さ、困っている人には温かい手を差し伸べ、寄り添える人に育つよう剣道を通して学んで貰えればと願っております。

令和6年、年明け早々に能登半島地震が起きました。災害に合われました皆様に温かいご支援と、一日も早い復興を願っております。

大会にあたり各方面の方々の協力を賜りましたことをクラブ員一同、心より感謝申し上げます。有難う御座いました。



9R-2Z アドプトアハイウェイ（道路清掃）の実施 神山ライオンズクラブ

1998年6月、神山町国際交流協会・神山町青年会・神山町商工会青年部・神山ライオンズクラブの4団体による、全国初のアドプトアハイウェイ（道路清掃）がスタート。

神山町内の各種参加団体は一定区間（2キロ程度）を定め、継続的に清掃活動することとしています。

今年度も8月に神山ライオンズクラブの受け持ち区間、橘谷橋周辺の清掃を会員の他、家族の方々も参加し実施しました。

今回は、思いのほかゴミの量が少なかったが、ごみゼロに向けて引き続き取り組んでいくこととしています。





25年続く地域対抗綱引き大会、4年ぶりの開催、子供たちだけでなく、応援者の保護者たちも一本の綱に力を合わせ、熱戦が繰り広げ、子供たちの笑顔と声援に、藍の会員も元気をいっぱい頂きました。

他にも、学童保育クラブの子供たちに、徳島フードバンクでキッチンカーを借り、100食ちかくの焼きそばを作り、美味しい美味しいとの声に会員の方も満足でした。

アクティビティが、10月11月12月と連続でしたが、チャーターナイト記念のチャリティー映画上映「桜色の風が吹く」は大反響で寄付金を2ヶ所に出ることが出来ました。12月にはサンタクローク、非常に寒い一日でしたが、フードバンクへの募金も募り、とても有意義な地域に根ざしたアクティビティでした。

藍ライオンズは、高齢が進み、女性ばかりなので、力はありませんが繊細な気遣いのあるボランティア活動を、一丸となつて楽しんでいます。

9R-2Z
25年継続 子供たちとともに
集う地域対抗綱引き大会
徳島藍ライオンズクラブ

故 山崎敏夫さんを偲んで

6R2Z 須崎ライオンズクラブ会員一同



平成3年ごろ全盛時の芝桜

春、3月も終わりごろになると、須崎市の川端シンボルロードにはちらほらと芝桜が咲き始めます。かつてはロード沿いの花壇二面に咲いて壮観だったこの芝桜は、平成19年須崎ライオンズクラブの45周年記念事業として1万株余り植えられたものです。その事業の中心におられたのが、故山崎敏夫さんでした。

山崎敏夫さんは2023年10月24日に病気のために、ご逝去されました。2000年の6月須崎ライオンズクラブに入会以来、2008年～2009年会長、2009年～2010年ゾーンチェアパーソンをつとめられ、常にクラブの中心人物として活

躍されていましたが、2023年7月病気のため、やむなく退会となりました。そして、まことに残念なことにとその3月後に帰らぬ人となりました。

山崎さんは、ライオンズが豊かでエネルギッシュに奉仕活動をされるだけでなく、お酒が大好きで、陽気で、人にも草木にも優しい、誰からも好かれる方でした。農業をされていたせいか、植物の育成には詳しく、芝桜の植栽と手入れに多大なリीडァーシップを発揮し、また芝桜が衰えたら水仙の植栽など、その力を存分に生かされ、須崎の街を色鮮やかに変えていただきました。

山崎さん亡き後、残された会員一同は、山崎さんの思いを引き継ぎ、奉仕活動に邁進していく所存です。山崎さん、どうかお見守りください。

合掌

追伸 12月だというのに、シンボルロードには芝桜が2～3輪咲いています。まるで山崎さんを惜しんでいるかのようです。



芝桜植栽教室の山崎さん



336-A 地区会員現況

期間：2023年7月度～2024年1月度

R	Z	クラブ名	期首	1月末	増減	家族会員
1	1	松山ホスト	34	34	0	0
		松山東	50	51	1	0
		砥部	51	50	-1	11
		松山つばき	59	56	-3	36
		松山城山	47	50	3	0
		Z 合計	241	241	0	47
	2	松山道後	58	61	3	0
		伊予	45	46	1	0
		松山西	55	62	7	13
		松前	21	20	-1	0
		松山北	28	27	-1	6
		松山湯築	46	45	-1	3
		松山城東	23	23	0	0
		Z 合計	276	284	8	22
	3	松山中央	106	108	2	0
		松山南	46	46	0	0
		松山金亀	58	58	0	5
		松山白鷺	68	70	2	0
		松山センチュリー	37	37	0	4
		Z 合計	315	319	4	9
	R 合計		832	844	12	78
2	1	新居浜	54	54	0	2
		新居浜中央	11	12	1	0
		新居浜別子	29	33	4	2
		新居浜ひうち	45	45	0	0
		Z 合計	139	144	5	4
	2	今治	59	69	10	6
		今治中央	47	46	-1	0
		今治東	37	38	1	2
		今治くるしま	35	38	3	1
		Z 合計	178	191	13	9
	3	伊予三島	41	44	3	1
		川之江	39	41	2	13
		伊予土居	45	44	-1	13
		四国中央法皇	32	31	-1	2
	4	川之江中央	16	19	3	0
		Z 合計	173	179	6	29
		西条	65	68	3	23
		東予	51	51	0	12
	5	伊予小松	13	13	0	0
		西条石鎚	37	39	2	10
		Z 合計	166	171	5	45
	R 合計		656	685	29	87
3	1	大洲	41	42	1	0
		宇和	41	40	-1	10
		内子	40	40	0	16
		野村	15	15	0	0
		Z 合計	137	137	0	26
	2	八幡浜	38	39	1	0
		三瓶	14	14	0	0
		伊方	33	36	3	0
		保内	15	15	0	0
		八幡浜みなと	36	33	-3	0
		Z 合計	136	137	1	0
	3	宇和島	33	38	5	1
		伊予吉田	19	18	-1	0
		南宇和	32	32	0	4
		鬼北	32	31	-1	6
		Z 合計	116	119	3	11
	R 合計		389	393	4	37

R	Z	クラブ名	期首	1月末	増減	家族会員
4	1	高松	30	30	0	0
		小豆島	45	47	2	7
		小豆島東	22	23	1	0
		高松葵	39	43	4	6
		高松南	17	19	2	7
	2	高松フェニックス	22	22	0	4
		Z 合計	175	184	9	24
		高松東	45	56	11	11
		高松西	39	45	6	12
		直島	23	23	0	0
		八栗	27	24	-3	8
		高松源平	29	30	1	7
		Z 合計	163	178	15	38
	3	東かがわ	34	33	-1	9
		長尾	33	32	-1	0
		志度	62	80	18	25
		三木さぬき	49	33	-16	8
		高松グリーン	15	15	0	0
5	4	Z 合計	193	193	0	42
		高松玉藻	22	26	4	8
		高松栗林	35	37	2	1
		高松屋島	30	31	1	9
		高松紫雲	62	62	0	16
	5	高松空港	23	24	1	0
		高松北	27	27	0	5
		Z 合計	199	207	8	39
		R 合計	730	762	32	143
	6	丸亀	92	93	1	0
		坂出	39	39	0	4
		坂出白峰	129	130	1	68
		綾歌郡	20	21	1	5
		丸亀京極	60	60	0	19
6	7	うたづ	32	35	3	5
		坂出シニア	41	41	0	8
		Z 合計	413	419	6	109
		観音寺	39	40	1	0
		善通寺	39	40	1	3
	8	多度津	58	57	-1	20
		三豊	40	40	0	0
		こんぴら	45	45	0	25
		観音寺中央	20	17	-3	0
		Z 合計	241	239	-2	48
	9	R 合計	654	658	4	157
		高知	72	77	5	8
		高知柏	55	57	2	14
		高知東	40	41	1	11
		高知北	32	33	1	13
7	10	高知桜	39	43	4	9
		Z 合計	238	251	13	55
		須崎	26	24	-2	0
		土佐	47	49	2	0
		伊野	30	30	0	7
	11	佐川越知	16	16	0	3
		中土佐	20	18	-2	0
		Z 合計	139	137	-2	10
		四万十	56	55	-1	10
		土佐清水	40	36	-4	0
	12	宿毛	15	15	0	0
		大方	22	22	0	4
		Z 合計	133	128	-5	14
		R 合計	510	516	6	79

R	Z	クラブ名	期首	1月末	増減	家族会員
7	1	高知鷹城	46	48	2	9
		室戸	23	22	-1	4
		南国	23	22	-1	0
		土佐香南	29	30	1	8
		高知鏡川	32	31	-1	2
		Z 合計	153	153	0	23
	2	高知黒潮	59	60	1	0
		土佐山田	11	9	-2	1
		土佐本山	26	28	2	6
		高知南	29	30	1	0
		高知よさこい	41	42	1	11
		Z 合計	166	169	3	18
	3	高知桂	36	36	0	2
		高知中央	57	55	-2	15
		高知安芸	34	32	-2	2
		高知りょうま	54	58	4	19
		Z 合計	181	181	0	38
	R 合計		500	503	3	79
8	1	徳島	0	0	0	0
		小松島	25	27	2	11
		阿南	49	50	1	15
		徳島南	14	14	0	4
		阿波勝浦	19	19	0	1
		徳島マリニピア	34	31	-3	0
		徳島すだち	69	65	-4	0
	Z 合計	210	206	-4	31	
	2	徳島中央	13	13	0	0
		石井	19	20	1	5
		徳島城山	38	37	-1	12
		上板	30	30	0	0
		徳島吉野川	24	24	0	0
		土成	29	31	2	0
		徳島やまもも	29	27	-2	5
Z 合計	182	182	0	22		
R 合計		392	388	-4	53	
9	1	徳島眉山	26	23	-3	0
		鳴門	40	39	-1	0
		藍住	33	31	-2	0
		板野	26	27	1	0
		鳴門西	19	21	2	0
		北島	44	42	-2	2
	Z 合計	188	183	-5	2	
	2	阿波池田	26	25	-1	0
		脇	37	34	-3	3
		鴨島	27	31	4	6
		阿波	22	21	-1	5
		神山	10	10	0	0
		徳島藍	27	25	-2	3
		Z 合計	149	146	-3	17
	R 合計		337	329	-8	19
地区合計		5,000	5,078	78	732	

*1月31日時点でのServannAでの月別会員数となります。
ServannAと国際協会のMyLCIとは切断されているため情報の反映に時差が生じています。

*家族会員数は再掲です。



物故会員



慎んでお悔やみ申し上げます

(2023年10月～2024年2月)

2月10日現在でご確認できた方を掲載しています。

①氏名・享年
②LC名
③没年月日

編集後記



地区誌四国3号をお届けできますことを、皆様に礼申し上げます。

半期の折り返しをすぎ、コーディネーター、委員長の皆様に出稿をお願いしたところ速やかに対応していただきありがとうございます。またアクティビティ紹介は地区委員各位の取材や原稿手配のお陰で、充実した内容になったと思っています。

そしてサンタウオークのページには、QRコードを掲載して動画サイトに移動できるようになりました。ご覧くださいませようお願いいたします。

地区誌制作に軸足をのけた委員会活動ですが、残すところ6月発行予定4号を残すのみとなりました。地区委員の皆様には色々ご苦勞をおかけしますが引き続き宜しくお願い申し上げます。

MC・地区誌・SNS委員会 酒井 陽典



①佐藤 元春 (81歳)
②9R-2Z 脇
③2023年11月11日



①岡本 直人 (59歳)
②7R-2Z 高知よさこい
③2023年11月9日



①門田 武治 (80歳)
②6R-2Z 土佐
③2023年10月29日



①範國 猛 (91歳)
②4R-3Z 東かがわ
③2023年10月21日



①岡田 学 (77歳)
②5R-1Z 綾歌郡
③2023年12月26日



①近藤 眞而 (76歳)
②2R-1Z 新居浜
③2023年12月2日



①山本久美子 (67歳)
②9R-2Z 徳島藍
③2023年11月28日



①佐々木 愛 (75歳)
②7R-3Z 高知安芸
③2023年11月23日



①井川 猛 (86歳)
②2R-3Z 四国中央法皇
③2024年1月21日



①松田 一郎 (80歳)
②3R-2Z 八幡浜
③2024年1月15日



①東 和男 (81歳)
②4R-3Z 東かがわ
③2024年1月15日



①井上 教 (82歳)
②3R-3Z 伊予吉田
③2024年1月5日



①村上 敦重 (74歳)
②2R-2Z 今治中央
③2024年2月2日



①馬場 始 (88歳)
②5R-1Z 丸亀京極
③2024年1月29日



①森 敏宣 (71歳)
②5R-1Z 坂出白峰
③2024年1月24日



①青木 茂美 (84歳)
②2R-3Z 伊予土居
③2024年1月22日

◆表紙写真

桐野 伴秋 TOMOAKI KIRINO

〈高知県観光特使〉

高知県生まれ 「一瞬の中に永遠を宿す」をテーマに美しい地球の姿や日本の情景を後世に伝えようと写真作家としての活動を始める。

キャンンの世界版企業カレンダーに起用。

写真集に「セドナ：奇跡の大地へ」(講談社)

日本・美の幻風景(講談社)地球・美の幻風景(高知新聞社)

カレンダー「幻想の日本」(山と溪谷社)を毎年発売

ミラノ万博 作品発表 2007年MJF一般賞受賞

e-mail : kirino393@yahoo.co.jp

公式サイト www.kirinoworld.com





ライオンズクラブ国際協会336-A地区

[第70回]

地区年次大会

高知大会

2024年 4月20日(土)・21日(日)

高知県立県民文化ホール・三翠園



大会スローガン

1年間の成果をみんなで称え合い、祝おう!

「おきゃく」じゃ、「祭り」じゃ!

高知の城下へ来てみいや!!

4月20日(土)

■ 記念ゴルフ大会

■ 日韓親善交流の夕べ

4月21日(日)

■ 指名選挙会

■ 大会式典

■ 代議員総会

■ ガバナー懇親会



We Serve



2023～2024年

ライオンズクラブ国際協会

336-A地区 高知キャビネット事務局

We Serve

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1-3-35 三翠園3F
TEL & FAX 088-856-6105
E-mail kochicab@lci336a.org

第125号 No.3 ・発行日/令和6年3月22日・発行所/336-A地区高知キャビネット・発行人/山崎勝彦
・企画編集/MC・地区誌・SNS委員会・印刷/共和印刷(株)

